

人づくり=ものづくり、橘さんの教師としての課題である。学生時代、橘さんが育った1960年代は後半、何か新しいことに体当たりした時代に“具体美術”の元永氏から“もっと遊べ”とアドバイスを受け、最初はわからなかったが、それが作品の中での遊び、作品の中の余裕を示唆された、それをいまでも覚えている。今の学生はまだ情報の扱い方が下手。また翌日のファッションショーで作品の発表があり、つねに作品のコンセプトとして、①好きなことを楽しむ。②シンプルでエレガンス。③女性を美しくみせる。④動いて美しい作品である、としている。実際そうでした。(翌日ファッションショーに行ってきました。)教師として、学生は短大2年間では、まだ無理な面もあるが、未完成交響曲としてみまもってほしい。早急に結果をみないでほしい。人づくり=物づくりである。

21世紀にむけて、人材の育成。ソフトの充実。市民参加の楽しさの共有。身近で長続きのある活動。リサイクルをめざした活動。土に帰る材料を開発してほしい。産・官・学共同の開発。資格を生かす場を考えてほしい。とのお話でした。

山内 | 関西へ転動して2年半、そして神戸市民として2年、にわか神戸人のおしゃべりとして、お話しされた神戸の街。関西人の気づかない神戸を興味深くお話ししていただきました。

概要 “ファッション都市神戸の証。神戸ファッション構造。神戸の財産。変わりゆく神戸。神戸に何をもちとめるのか。

ファッションの受取り方の違いが、こちらに来たとき流行していた少女達の

バーバリーマフラーの使い方にそれぞれの個性があった。東京ではみな同じスタイル。(不謹慎ですが)震災時の人々のセンスのよさ。街を歩く年配のご夫婦のファッションセンスの良さ。良いもの、クラシック。トラッドなど。年配の方々の集まるカフェがチャントあり、東京のように、若者に占領されていない。神戸に来る前にいただいていた神戸と今住んでいる神戸の街の違いに気がきました。芦屋から山の手を神戸と誤って、西区、北区はそのイメージにはなかった。また神戸の中心地区の大きさは1.5km×3.5kmのコンパクトサイズ。一日でまわれる都市であり、山手から港に歩いていくと、自分の位置がわかる街である。自分の体が記憶できる街である。震災で本家オリエンタルホテルが取り壊しになったのは残念。神戸の財産である町並み。旧居留地。北野地区。そして、あたらしい器(ポートアイランド・六甲アイランド)をつくるのもいいが、そのなかでプラスするもの。人が参加するもの。一人一人の工夫が生かされた街を望みます。京都市民の手による町づくりをあげながら、器作り。子供の頃からの教育。しつけが必要。またイージケア。ウォッシュャブルなど便利さが問われているが、アイロンをかける生活が必要。特に神戸はこの自覚がほしい。クラシックの尊重。後生に残る街になってほしい。神戸は意識をもってほしい。意識で解決することとお金で解決することを分けていかねばならない。と以上のお話でした。

あと質問の時間では、橘さんのスライドにあった母娘ファッション・カジュアル神戸ファッションはレディスからスタートなどなどファッション談義に花咲きました。

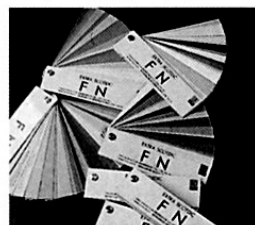
レポート [平岡美子]

神戸ファッション産業復興支援センター見学会

神戸・淡路大震災で被害を受けたファッション産業関連の中小企業支援を目的に財団法人“神戸ファッション協会”が国と市との支援を受けて、1996年2月に神戸ファッションコート6階に設置されました。その内容は、

1) ライブラリー

ファッション・グラフィック・店舗・建築から民族・写真・風景・また神戸市の地場産業に関するアパレル・真珠・ケミカルシューズ等の資料も充実しています。これらの資料を活用して、マップを作ったり、打合せも出来ます。またトレンド展示・ファッションに関するビデオ・スコットディックのスワッチ(有料)も収集されています。



2) マルチメディアルーム

CG操作やCADを行うことができます。マッキントッシュ11台を設置。以下、次のソフトが利用できます。CGソフト4Dbox・アパレルCAD PAD SYSTEM・Photoshop・Illustrator・CD-ROM約200タイトルが用意されています。

ライブラリーは以前は会員制だったのが、無料で。マルチメディアルームは低料金で利用でき、インストラクターも常駐されています。またCGセミナー・インターネットセミナーを随時開催しており、希望者には連絡していただきます。(FAXで)なお9月6日T.D.A教育委員会の主催のCGセミナーはこの部屋で行なわれました。なおこのセンターは神戸地区に限られるのではなく、広くデザイン関連者に対して窓口が開けられています。T.D.A会員の方も神戸に来られることがあれば、半日予定をとられて、ぜひ利用してください。

問い合わせ先 神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションコート6階

TEL 078-857-8021 FAX 078-857-8358

開館時間 10:00~18:00(月~金) 休館日 土・日・祝日 年末年始

夏期休暇・神戸ファッションコートの休館日はその都度連絡

レポート [平岡美子]

